

第97号

Super
Highway

JR東労組バス関東本部

発行日
2016. 4. 6

スーパーハイウェイ

発行責任者：遠山真一郎
編集責任者：荒井雄太
東京都渋谷区代々木2-2-6
JR新宿ビル13F
TEL03-3375-5041 (NTT)

**たしろ参議院議員 国土交通委員会において
『軽井沢事故を受けた事故の再発防止』
について2回目の発言おこなう！！**

バス職場からも
組合員7名が傍聴

4月5日たしろかおる参議院議員は国土交通委員会において、「軽井沢スキーツアーバス事故を受けた事故の再発防止」に向けた質問や具体的な提案を石井国土交通大臣におこないました。今回は3月10日に行った質問に引き続き2回目の審議となります。

たしろ議員は、職場で実際に働く私たちが政策要求として高めた「バス運転士の中長期的な育成のための『国の支援による『安全研修施設』の創設』、「バス運転士の労働時間を定めた『改善基準告示』の見直しについての検討会の設置」について国土交通省に提案しました。そして事故の最大の背後要因である行き過ぎた規制緩和の具体的な見直しについて、「貸切バスの新規参入を一旦止めること」と「国によるバス業界の更なる監視体制の強化（民間団体の活用と監査官の増員）」を求めると同時に、業界に蔓延る上下関係を払拭するために「旅行業の仲介手数料の上限水準の設定すること」「ランドオペレーターの実態を把握すること」から、旅行業界とバス業界最大の共通認識に立つべきは「安全が根幹」であることを切実に訴えました。

加えて安倍政権が交通業界のさらなる規制緩和として打ち出している「自家用ライドシェア拡大」の問題点について発言し、白タクの合法化は鉄道・バス・タクシー等公共交通の安全・快適な輸送体系を破壊するものだと指摘を行いました。



発言については参議院インターネット中継からの検索で閲覧できます

問われているのは「実効性」

私たちが高めた政策を基礎に

安全な公共交通をたしろ議員と実現しよう！！